



新入生を代表し、八幡大^{だい}さんが誓いを述べました(松尾中)

話題

ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。
企画財政課広報広聴係 ☎・内線1202

いよいよ学校生活開始

市内小・中学校入学式

市内小・中学校の入学式は4月4から8日にかけて行われ、小学校10校で135人、中学校4校で171人の新入生を迎え入れました。

各校ともマスクを着けたり、来賓や在校生の出席を控えたりするなど、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策をして実施。異例の入学式となったものの、新入生は会場に元気な姿を見せました。大更小に入学した杉村^{はやと}斗君は「友達をたくさんつくってサッカーをしたい」と期待に胸を膨らませました。



入学式を終え、教室で先生の話を書く新入生(大更小)



贈呈式後、寄付車両をバックに記念撮影する関係者

青少年健全育成願い寄贈

西根ライオンズクラブ寄付車両贈呈式

西根ライオンズクラブ(齋藤俊二会長、会員59人)は3月30日、結成50周年を記念して、市役所に軽トラック3台を寄贈しました。

大きな節目を迎え、地域の役に立つものを贈ろうと市と協議をした結果、老朽化が進み、買い替えを必要としていた大更小、平笠小、西根第一中の学校用務連絡車の寄贈を決めました。齋藤会長は「これからも地域に根ざしたクラブとして、時代の変化に応じた奉仕活動を探り、行っていきたい」と力を込めました。



ガーデンパークがオープン。今年から新設された「森のアクアリウム」(4月11日、サラダファーム)



田村正彦市長から激励を受ける3人の新入生(4月9日、安代漆工技術研究センター入所式)



交通安全を呼び掛けるハチマンタイラーに黄色い羽根をつけてもらう1年生(4月10日、松野小)



開通を祝い関係者らがテープカット

一陽来復にぎわい願う

八幡平アスピーテライン開通式

八幡平アスピーテライン開通式は4月15日、松尾八幡平ビジターセンターで行われ、八幡平の観光シーズンの到来を告げました。

今季の雪壁の高さは、最大で約6mと暖冬の影響で例年より1m低いものの、白さは例年以上。雪の回廊は、5月上旬ごろまで楽しめる見込みです。

田村正彦市長はあいさつで、予定通りの開通に感謝し「新型コロナウイルスの事態が早く終息して、たくさんの人でにぎわってほしい」と願いました。

市消防団が新体制で始動

市消防団辞令交付式

市消防団辞令交付式は4月3日、市役所多目的ホール棟で行われ、団長以下、再編で見直しになった役付きの団員や新入団員に辞令が交付されました。

令和2年度から従来の36分団を11分団に再編し、新体制でスタート。これまで本部長を務めていた工藤民一さんが新団長に就任し「みんなで協力して無火災無災害に向けて努力していきましょう」と訓示しました。

4月1日に新たに入団した12人を含め、現在の団員は804人、うち機能別団員は118人です。



田村正彦市長から辞令書とはんてんを受ける工藤新団長

今後も市の発信を継続

令和元年度市地域おこし協力隊活動報告会

市地域おこし協力隊活動報告会は3月27日、市役所多目的ホール棟で開かれ、現役隊員とOBの6人が活動内容などを約40人の参加者に報告しました。

隊員の活動を周知し、交流や連携の活性化を図るため、市民に呼び掛ける開催は初。参加者からは、今後の展望など多くの質問が寄せられました。

4月からリング農家として定住する古屋亮輔さんは「現役隊員とOB・OG隊員とのつなぎ役になって、一緒に市の魅力を発信したい」と意気込みを示しました。



3年間の隊員活動を振り返り報告する古屋さん

八幡平市立病院が完成

八幡平市立病院引き渡し式

西根病院の施設老朽化によりJR大更駅東側に移転新築した八幡平市立病院の引き渡し式は3月19日、市立病院内で行われました。

式には、市や建設会社の関係者など約30人が参加。市病院事業管理者の望月泉統括院長は「地域の皆さんに安心して受診してもらえよう、診療態勢を充実させていきたい」と意欲を見せました。

市立病院の総工費は約40億2900万円。8月1日の開院を目指し、準備を進めています。



市立病院の鍵を預かる望月統括院長(右)

名護市との友好の懸け橋

友好都市沖縄県名護市との職員交流

4月から沖縄県名護市職員の儀部真澄さんが商工観光課観光振興係で勤務しています。

初めての東北での生活に「体験したことがない寒さや初めて見る食材など驚きの連続で新鮮な気持ち」と笑顔を見せ、仕事では「八幡平市で多くのことを経験し、大きく成長したいです」と決意を語りました。

引越し荷物にロードバイクを持って来るほど運動が好きな儀部さんは、岩手山登山には絶対に挑戦したいと意気込んでいます。



ハイサイ！皆さんよろしくお願ひします

手作りマスクで地域貢献

スワンの里から地域の子どもへマスク贈呈

笹目地区で交流活動を行ういきいきサロン「スワンの里」(田村ナツエ会長、会員12人)は4月6日、手作り布マスクを平館小と西根一中に100枚ずつ贈りました。

平館小の高橋俊明校長は「頂いたマスクで子どもたちの健康を守りたい」と感謝を伝え、児童会長の岡本紗奈さんは「繰り返し大切に使いたいです」と笑顔で浮かべました。

贈られたマスクは小学校と中学校で大きさが異なるなど、使う人を思う工夫が施されています。



マスクを平館小に贈る田村会長(右から2人目)

すなっぶギャラリー



県による農地整備「後藤川地区整備事業」の工事安全祈願祭。事業完了は9年度を予定(3月27日、市役所)



元年度安代漆工技術研究センター修了生による制作展が開催(3月27日、市役所玄関ホール)



防犯隊員や防犯協会員、岩手警察署員ら約30人が防犯を呼び掛け(4月6日、マックスパリュウ西根店)



小林昭吉さん(左)と高橋洋子さんに市交通指導員の委嘱状を交付(4月1日、市役所)



株式会社からアルミベンチ10脚が寄贈され、目録を手交。設置は市ラビー場(4月22日、市役所)